

東京キリストの教会 QT シリーズ エフェソシリーズ

第1週 2021年2月15日～2月21日

<2月15日(月) エフェソ 1:1 (新共同訳)>

1 神の御心によってキリスト・イエスの使徒とされたパウロから、エフェソにいる**聖なる者たち**、キリスト・イエスを信ずる人たちへ。2 わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。

解説



エフェソシリーズのスタートです。最初に5W1Hでエフェソの信徒への手紙を学びましょう。

Who : パウロから兄弟姉妹へ

Where : ローマの獄中から、アジア州エフェソへ (現在のトルコ)

When : AD62年ごろ

What : 手紙のテーマは「イエスとの一致」

Why : パウロが3年間滞在した教会。福音宣教のための大きな拠点であると同時に、迫害も激しかったため。

How : 手紙として、ティキコによって届けられたと考えられる。

質問・実践

①パウロは冒頭でエフェソにいる兄弟姉妹のことを「**聖なる者たち**」、と呼びました。パウ

ロ自身投獄され、エフェソの兄弟姉妹は激しい迫害を受けていました。しかし、世の中の基準がどうあれ、パウロは自分が「聖なる者」だというアイデンティティを決して失わずに、兄弟姉妹を励ましました。

私たちもイエスの十字架と復活の恵みによって聖別され、バプテスマを受け、信仰により「聖なる者」とされました。イエスから「聖なる者よ」と語りかけられたらあなたはどう反応しますか？自分のことを「聖なる者だ」と、頭だけではなく、心でそのように思っていますか？

② ①の質問に対して「はい」と答えた方は、その理由を書き出し、神様に感謝しましょう。

①の質問に対して「いいえ」と答えた方は、その理由を書き出し、近い弟子から聖句や健全な声をもらい助けてもらいましょう。

<2月16日(火) エフェソ 1:3-10 (新共同訳) >

3 わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。神は、わたしたちをキリストにおいて、天のあらゆる霊的な祝福で満たしてくださいました。4 天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。5 イエス・キリストによって神の子にしようと、御心のままに前もってお定めになったのです。6 神がその愛する御子によって与えてくださった輝かしい恵みを、わたしたちがたたえるためです。7 わたしたちはこの御子において、その血によって贖われ、罪を赦されました。これは、神の豊かな恵みによるものです。8 神はこの恵みをわたしたちの上にあふれさせ、すべての知恵と理解とを与えて、9 秘められた計画をわたしたちに知らせてくださいました。これは、前もってキリストにおいてお決めになった神の御心によるものです。10 こうして、時が満ちるに及んで、救いの業が完成され、あらゆるものが、頭であるキリストのもとに一つにまとめられます。天にあるものも地にあるものもキリストのもとに一つにまとめられるのです。

解説

挨拶に続き、パウロは手紙の冒頭に、神様からの霊的な祝福、また恵みについて話しています。2節から8節までの中に、「恵み」という言葉は4回使われています。3節では「天のあらゆる霊的な祝福」が与えられていると表現されています。恵み（ギリシア語：カリス）という言葉は、広範囲な意味を持ちますが、「値しない者に与えられる、神様の私たちへの特別な好意や親切、思いやり」などの意味で、聖書には描かれています。またこの個所では、それらの恵みや祝福がすべて「キリストにおいて／によって」(in Christ) 与えられていることが強調されています。

質問・実践

- ①3節から10節までを読んで、キリストによって与えられている恵みや霊的な祝福は、具体的に自分にとってどのようなものか、熟考して書き出してみましょう。
- ②その中で特に留まりたい恵みは何ですか？ 今日一日、その恵みについて思い巡らし、留まりましょう。

<2月17日(水) エフェソ 1:3-6 (新共同訳) >

3わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。神は、わたしたちをキリストにおいて、天のあらゆる霊的な祝福で満たしてくださいました。4天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。5イエス・キリストによって神の子にしようと、御心のままに前もってお定めになったのです。6神がその愛する御子によって与えてくださった輝かしい恵みを、わたしたちがたたえるためです。

解説

昨日は神様の恵みと霊的な祝福について深めました。パウロはそれらの恵みや祝福に対して、何より「ほめたたえる」姿勢を示しました(3節)。またそれらの恵みや祝福が与えられた理由は、わたしたちが神様を「たたえるため」だと語りました(6節)。神様の恵みに対するパウロの応答は、「賛美」でした。「賛美」は様々な形を取りますが、神様ご自身が崇められ、ほめたたえられることであり、ただの感謝以上のものです。神様の御業を味わう時に、そこに「賛美」があります。

質問・実践

- ①最近のあなたの神様への賛美の心や態度はどうでしょうか？どのようにして、自分の神様に対する賛美を高めることができるでしょうか？
- ②今日ひとつ具体的に、神様に賛美(神様が崇められる行為)をしてみましょう。

<2月18日(木) エフェソ 1:13 (新共同訳) >

13あなたがたもまた、キリストにおいて、真理の言葉、救いをもたらす福音を聞き、そして信じて、約束された聖霊で証印を押されたのです。

解説

13 節、14 節では神様がくださった聖霊について書かれています。

13 節には聖霊の働きは「証印」と書いてあります。「証印」というのは、かつて貿易の貨物が誰のものであるかを明らかにするためのスタンプでした。(当時は、今のように紙のラベルに印刷するのではなく、自分の指輪の印を、まだ柔らかい蠟に押しつけ、その蠟が固まったものが証印でした。)

貿易商人たちは、商品を梱包し、「証印」を押すことで、その商品が自分たちのものであること証明していました。

私たちが、救いの福音を聞いて信じたとき、神様は、私たちがキリストのものであることの「証印」を押してくださいました。神様の聖霊が自ら「証印」となってくださいています。

質問・実践

①私たちはまだ、貨物のように地上での混沌とした旅の途中です。ですが時が来て、聖霊のお陰で神様に「私のものだ」と言っていただくことができます。それを思い巡らす時、どのような気持ちになりますか？

②今日改めて聖霊が与えられている喜びを噛み締めましょう。兄弟姉妹と共に感謝と賛美の祈りを捧げましょう。

<2月19日(金) エフェソ 1:14 (新共同訳)>

14 この聖霊は、わたしたちが御国を受け継ぐための保証であり、こうして、わたしたちは贖われて神のものとなり、神の栄光をたたえることになるのです。

解説

続けて聖霊について学んでいきましょう。14 節では聖霊は私たちが御国を受け継ぐための保証であると書いてあります。「保証」は、「手付け金」「頭金」と訳すことができます。パウロは、聖霊がこの手付け金であると言っています。

聖霊によって、私たちは神様が共にいてくださる喜びや平安（ヨハネによる福音書 14 章）また力、愛、思慮分別の能力など（2 テモテへの手紙 1:7）多くの恵みが与えられています。それは手付け金であり、神様が与えてくださる祝福のまだほんの一部だということです。神様が与えようと計画してくださっている恵みは、どれほど大きなものでしょうか。

質問・実践

①私たちは毎日、色々な悲しみや困難があります。一度立ち止まり、神様が私たちを贖うためにすでに保証金（手付け金）を支払ってくださったこと、また、これからいただく恵みの大きさを想像して、神様をほめたたえましょう。

<2月20日(土) エフェソ 1:15-19 (新共同訳) >

15 こういうわけで、わたしも、あなたがたが主イエスを信じ、すべての聖なる者たちを愛していることを聞き、16 祈りの度に、あなたの方のことを思い起こし、絶えず感謝しています。17 どうか、わたしたちの主イエス・キリストの神、栄光の源である御父が、あなたがたに知恵と啓示との霊を与え、**神を深く知ることができるようにし**、18 **心の目を開いてくださる**ように。そして、神の招きによってどのような希望が与えられているか、聖なる者たちの受け継ぐものがどれほど豊かな栄光に輝いているか悟らせてくださるように。19 また、わたしたち信仰者に対して絶大な働きをなさる神の力が、どれほど大きなものであるか、悟らせてくださるように。

解説

元々異教徒であったエフェソの人々が、真の神様を知ったことは素晴らしいことです。しかしパウロは、それだけで満足せず、より深く知ってほしい、さらには神様との個人的な交わりの中で成長して欲しいと願ったのです。口語訳には「神を認識し」と訳されていますが、新共同訳では「神を深く知ることができますように」と訳されています。

ここで「神を知る」の知ると訳されている言葉は、「さらに深く十分な知識」を意味する言葉です。通常、「知る」を意味する言葉は「グノーシス」です。しかしここでは「エピグノーシス」が用いられています。「エピ」は、「上に」「さらに」「加えて」という意味の言葉です。よって「エピグノーシス」は「さらに深く十分に知る」と訳することができます。神様を「さらに深く十分に知る」ために、心の目を開いていただきましょう。

質問・実践

- ①「さらに深く十分に神様を知る」上で、新たに感動したことはありますか？
- ②今日、実際に17節18節を祈りましょう。

<2月21日(日) エフェソ 1:20-23 (新共同訳) >

20 神は、この力をキリストに働かせて、キリストを死者の中から復活させ、天において御自分の右の座に着かせ、21 すべての支配、権威、勢力、主権の上に置き、今の世ばかりでなく、来るべき世にも唱えられるあらゆる名の上に置かれました。22 神はまた、すべてのものをキリストの足もとに従わせ、キリストをすべてのものの上にある頭として教会にお与えになりました。23 教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です。

解説

神様は、ご自身の御子イエス・キリストに、万物を支配する王としての統治権をお与えになりました。これは「あらゆる名の上に」キリストを置かれたことを意味します。ですから、イエスの名によって祈れることは、どれほど特権でしょう。

またパウロはこのエフェソの手紙の中で9箇所「からだ」について言及し、教えています。「教会」と訳されている元々の単語は、ギリシア語では「エクレシア」です。エクレシアとは、「ある目的を持って召し出された者たち」「呼び出された会衆」という意味です。つまり、神様によってこの世から、使命をもって召し出された者たちの集合体を意味します。

質問・実践

- ①イエスは最も高い権威と勢力をお持ちの方です。そのイエスに、今日あなたは何を願いたいですか？
- ②私たちはイエスの体の一部分として、小グループに何ができるか、具体的に考え、実践してみましょう。